

IV 自由意見

【病院・診療所】

- ・直接会っての面談が最も良いのですが、困難なので、WEB 会議ができる環境ができると良い。
- ・開設したばかりの医院のため、光市との連携・地域ケアについても少しずつ進めていけたらと思う。
- ・在宅医療をしている人が入院の必要がある時、どこに入院するのか決めて欲しい。それを探すのに時間がかかる。
- ・光市立病院がすべて引き受けて欲しい。
- ・薬局の訪問で、薬の管理が改善していると思います。いつも献身的に働いていただくスタッフの皆さんに心より感謝致します。
- ・協力できることはさせていただきます。宜しくお願いいたします。

【歯科診療所】

- ・歯科医院とケアマネジャーとの直の連携はあまりなく、利用者・家族を通して連携を行っている。
- ・介護老人保健施設の嘱託医との連携がとれるといいと思う。
- ・患者の家族との連携がほとんどない気がする
- ・名簿でもあれば連携し易いかも。
- ・これから在宅医療に係わっていきたいと考えているので、光市あいぱーくのシステムをしっかり把握していきたいと思います。

【薬局】

- ・病院が多忙なためか、退院後に利用する予定の薬局に情報をくれないため退院後の受診で初めて入院したことを知ることが殆ど。
- ・ケアマネが薬局に遠慮して要望を仰らないことが多い。
- ・在宅や介護分野はやらない薬局も多いが、在宅支援を積極的に取組む薬局もあるので、地域支援体制のある薬局を厚生労働省のホームページで確認してもらえると助かります。
- ・地域ケア会議の回数をもう少し増やしてほしい。
- ・診療所の医師とは比較的に連携が取りやすいが（直接会える為）総合病院の医師とは難しい。
- ・在宅を実施していない期間等、普段からの連携の取り方がわからない。
- ・在宅で関与することも重要ですが、在宅が必要でない方にも残薬の整理や処方内容の確認・変更提案等、薬局も携わっていく必要があると感じているので、ケア会議やカンファレンス等関係ができる場があれば参加致します。よろしくお願い致します。

【訪問看護ステーション】

- ・ケアマネさん、医療機関との情報交換会が今後も可能になればと思っています。

【介護老人保健施設】

・医療介護連携には、他職種の職務内容を相互に理解する必要があるので、そういった場の設定や、相互理解を深める冊子（他職種の職務内容、特徴、他職種の人がその職種について知りたい事などを記載）の作成などで連携を強めていくのが良いと思います。

・

【居宅介護支援事業所】

・ケアマネの知らない間に訪問看護が導入されていることがある。事前に相談してもらえば本人・家族と事業所選択も可能となる。ケアマネとして連携しやすい事業所を選びたい。

・ヘルパー事業所が少ないため、夜間などの要請ができない。

・光市内の病院との連携は取れていると思いますが、市外の大きな病院等の病院が十分に連携が図れていない所が有るようです。

・個人の病院への連携で電話・FAX・直接会いに行き医師との連携が取れていると思います。

・医療との連携はなかなかハードルが高いのは本当です。

・それぞれ病院や主治医によって考え方や、やり方が違うので、どのタイプにも合わせられるようにケアマネ側が工夫することが連携のポイントだと思います。

・お互いの敷居を低くするためにも、情報交換会のような理解を深めるための時間を持つことが必要だと思います。